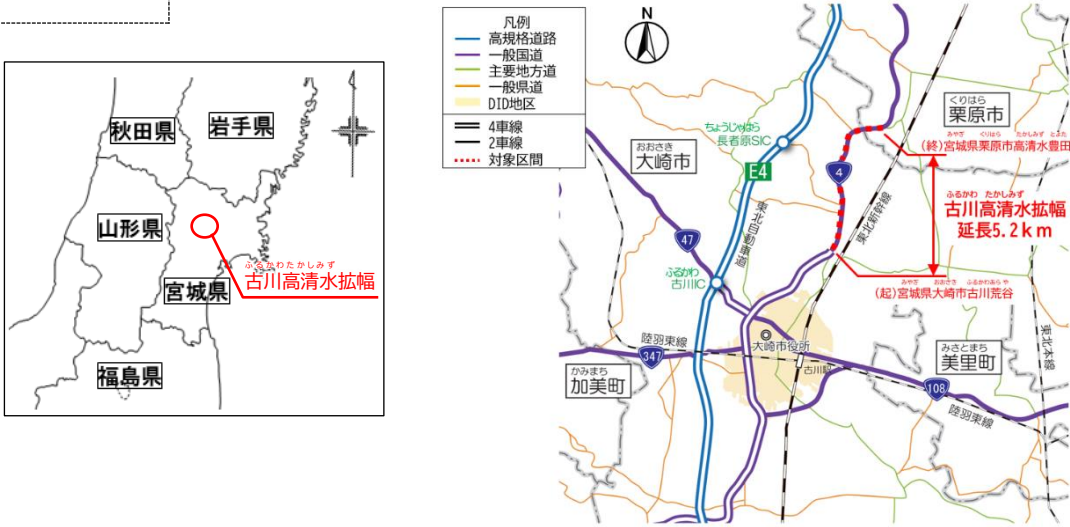


# 新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課

担当課長名： 西川 昌宏

## 事業の概要

事業名	一般国道4号 古川高清水拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県大崎市古川荒谷 至：宮城県栗原市高清水豊田	延長	5.2km		
事業概要	一般国道4号は、東京都中央区を起点に、青森県青森市に至る延長約839kmの主要幹線道路である。 このうち古川高清水拡幅は、交通混雑の緩和や地域産業支援等を目的とした延長5.2kmの道路事業である。				
事業の目的、必要性	当該道路の整備により、交通安全の確保や歩行環境を確保するとともに、幹線道路の強化による物流・地域産業の支援や安定した救急搬送ルートの確保による救急医療の支援並びに東北自動車道の代替道路としての機能向上を目的とする。				
全体事業費	約200億円	計画交通量	約25,200台/日		
事業概要図					

## 関係する地方公共団体等の意見

### 【宮城県知事】

予算化することについて同意します。

一般国道4号は、東北地方と首都圏を結ぶ大動脈であり、東北自動車道とダブルネットワークを形成し、経済活動の活性化などの効果を発揮するとともに、災害発生時等には東北自動車道を代替する極めて重要な役割を担っております。

当該区間と並行する東北自動車道の古川ICから築館IC間において、令和3年1月に130台以上が絡む多重事故が発生し、長時間にわたる通行止めが生じた際には、代替道路となる当該区間に車両が集中して渋滞が発生し、緊急車両等の通行に支障をきたしました。さらに、当該区間を含む一般国道4号周辺には、「富県宮城」を推進する自動車関連企業などの集積が進み、製品の出荷量も増加していることから、物流の円滑性や安定性の確保も重要となります。そのため、代替道路としての機能や安定した物流環境を十分に確保し、強靱な道路ネットワークを構築するためには、「一般国道4号古川高清水拡幅」による機能強化は必要不可欠となります。

つきましては、令和8年度新規事業としての予算化に特段の御配慮をお願いします。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

## 対応方針(採択理由)

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、交通混雑の緩和や安全性の向上、地域の救急医療活動及び物流・地域産業の支援、代替道路としての機能向上など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
■ 便益が費用を上回っている
■ 事業実施環境が整っている

費用便益分析 (参考)	B/C		(参考)	EIRR	総費用	125億円	総便益	199億円	感度分析	基準年					
	[4%]	1.6	1.6	6.5%	事業費: 維持管理費:	113億円 12億円	走行時間短縮便益: 走行経費減少便益: 交通事故減少便益:	185億円 9.1億円 5.1億円			(参考) 時間信頼性向上便益: CO2排出削減便益:	4.9億円 0.60億円	交通量変動	B/C= 1.4 ~ 1.8 (変動ケース:±10%)	令和7年
	[2%]	2.4	2.5										事業費変動	B/C= 1.5 ~ 1.7 (変動ケース:±10%)	
	[1%]	3.1	3.1										事業期間変動	B/C= 1.4 ~ 1.8 (変動ケース:±20%)	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([ ]内は社会的割引率の値)

事業の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	・交通容量の確保による混雑緩和 【国道4号の混雑度】 現況:1.49 → 整備後:0.78(約5割減少)
事故対策		◎	・交通混雑の緩和により、混雑に起因する追突事故等の発生を抑制 【死傷事故率】 現況:82件/億台キロ → 整備後:57件/億台キロ(約3割削減)	
歩行空間		◎	・通学路で歩道未整備区間に歩道が整備され、歩行者の安全性が向上	
社会全体への影響	住民生活	◎	・4車線化により救急車両が走行できる車線が確保されるため、救急搬送における安定性と速達性が向上 【栗原市高清水豊田から大崎市民病院までの所要時間】 通常時 現況:19分 → 整備後:17分(2分短縮) 東北自動車道通行止め時 現況:34分 → 整備後:20分(14分短縮)	
	地域経済	◎	・幹線道路の混雑が緩和し、安定した物流ルートが確保され、物流・地域産業を支援 【自動車部品製造工場から物流倉庫までの所要時間】 通常時 現況:13分 → 整備後:11分(2分短縮) 東北自動車道通行止め時 現況:35分 → 整備後:21分(14分短縮)	
	災害	◎	・交通容量を確保し、東北自動車道通行止め時における代替道路としての機能を向上 【国道4号現道の旅行速度】 東北自動車道通行止め時 現況:16km/h → 整備後:49km/h(33km/h向上)	
	環境	○	・環境の改善*(CO2排出削減量1,814.7t-CO2/年[CO2排出削減便益:0.60億円])	
	地域社会	○	・当該事業区間である大崎市及び栗原市、周辺市町村との連携を深め、生活・産業を支援	

事業実施環境
・都市計画決定手続き完了(R8.1.20)
・宮城県知事、国道4号拡幅改良(4車線)建設促進期成同盟会により早期事業化を要望